

平成 13 年度 SGST 第 4 回研究会 議事録

日時 : 平成 13 年 10 月 16 日(火) 16:00~18:00

場所 : 日本車輛製造(株) 1 F ホール

講師 : 佐々木葉助教授(日本福祉大学情報社会科学部), 白木渡教授(香川大学工学部)

出席者: 安藤(瀧上), 岡本(パシフィック), 小川(名古屋道路工社), 小澤(日本車輛), 中田(佐藤鉄工), 加藤(長大), 亀子(瀧上), 木下(景観工学研究所), 櫛田;杉山;平松(帝国コンサル), 小澤(建技研), 近藤(名城大), 坂田(川田工業), 佐光(第一技研コンサル), 左合(瀧上), 塩見(中部大), 柴田(大日コンサル), 清水(信州大), 菅内(創建), 鷲見(八千代工社), 河野(東海鋼材), 竹田(IHI), 館石(名大), 田中(日本車輛), 土井(NKK), 鳥本(中央コンサル), 藤澤(日本建設コンサル), 古市(第一技研コンサル), 森(名高速), 山田(名大), 山田(比工工業), 吉川(日本車輛), 渡辺(オリエタルコンサル), 中川(瀧上), 以上 35 名(敬称略)

1. 定期研究会

講演 「橋の造形と大きさ - 新しい風景との関係を探る -」 日本福祉大学 佐々木葉助教授

(講演の概要)

サイズがデザインに与える影響について説明があり, 実在するアーチ橋を題材にした試み「視距離が変わると見え方がどう変わるか」の実験報告がおこなわれた。また, 橋梁のデザイン論として 視距離を考慮したデザインポイントの意識 橋梁の存在感のアピールと消去 巨大化する橋梁デザイン手法などについて説明があった。

講演 「橋梁景観設計・評価への感性工学手法の適用に関する研究」 香川大学 白木渡教授

(講演の概要)

感性工学手法の適用による橋梁の景観設計・評価について説明があった。また, 桁橋の景観設計における感性評価とフラクタル次元の適用に関する研究として, 橋梁年鑑の写真と 43 のキーワードを基におこなったアンケート評価結果に対する考察について説明があった。

以上//